

過去問の学習方法

1. 毎年同じことを書いていますが、無料公開は初めて見る方もおられるのでご了承下さい。過去問は最高のバイブルです。専門校の答練にも良問はありますが、やはり本試験に叶うものではありません。特に事例Ⅳの経営分析は、各企業の数値を徹底的に洗い出す練習をすれば、必ず本試験での対応力を確保できます。平成 28 年度は、ここ最近の傾向を反映して解きやすい問題だったと思います。びっくりするような問題はありませんでした。

事例Ⅳの本番での対処方法

1. 最初の 15 分は、とにかく我慢。どこに配点があるか？そのうち自分は、どこで点を取るかをしっかり設計する。
解答要求をみると、第一問は 2/3 は取りたい。第 2 問の設問 1 は必ず満点、設問 2 以降は少し微妙だが対応できる範囲です。第 3 問は満点狙えますが、第 4 問は会計学習者かどうかで分かれる可能性があります。第 1 問で、第 2 問、第 3 問、第 4 問、合計で 60 点は十分に狙えます。
2. 「いける」と思って途中まで実施した問題であっても、途中で無理と感じたら「すっぱり、あきらめる事」も大事
3. 記述問題は、とにかく「解答要求」と「与件」を照らし合わせれば、「何か」書く事は可能。過去の受験者から「あの答案でAとはビックリ」という声はよく聞きます。決してあきらめず、最後の 1 分まで力を振り絞ってください

ホームページで私の開示要求できた 2 回分の成績を公開しています。

最終的には、財務の充実と「ふぞろいな合格」シリーズで合格できたと確信しています。

予備校の気に入る答案ではなく、試験に通る答案を目指しましょう。

では、確実に取りたい論点から説明します

第1問

では今回の問題をD社と競合他者を比較してみましょう（下記の数値はチェックした方がよい）

	指標名	D社	同業他社
収益性	総資本経常利益率 (総合的な収益性を判定)	5.77%	6.77%
	売上高総利益率	12.70%	20.22%
	売上高営業利益率	5.62%	7.49%
	売上高経常利益率	4.62%	7.72%
効率性	総資本回転率	1.25回	1.16回
	棚卸資産回転率	22.95回	14.05回
	有形固定資産回転率	1.93回	1.82回
	売上債権回転率	9.95回	7.63回
短期安全性	流動比率	150.00%	158.02%
	当座比率	122.32%	118.81%
長期安全性	固定比率	345.71%	125.73%
	固定長期適合率	86.82%	83.75%
	自己資本比率	19.87%	52.04%
	負債比率	403.14%	92.17%

※当座資産は現金預金＋売上債権で計算しています（中小企業庁方式）

他にも流動資産－棚卸資産で計算する方法もあります。その場合は記述欄に記した方が良いでしょう。

※今回は「同業他社と比較した場合のD社の課題」に対する指標なので、営業面の安定受注、生産面の設備更新・原材料のVA・物流合理化による加工コスト削減を考慮する必要があります。

売上高総利益率、固定比率の増大

優れている点→棚卸資産回転率

<与件分から考えられる指標・事象>

得意先との交渉による適正料金の設定によって採算を改善・加工コスト削減→売上高総利益率

<記述のポイント>

財政状態面→過度な設備投資により固定比率が高い

経営成績面→販売管理費は低いが、支払利息が高いため経常利益が低い

第2問

	当期		来期		来期計
	大口 変動費	その他 固定費	大口 変動費	その他 固定費	
売上高	2,286	1,524	2,355	1,524	3,879
売上原価	1,676	1650	1,760	1,550	3,310
売上総利益					569
販管費	150	120			270
営業利益					299

(設問2)

売上→396

変動費→270

固定費→370

営業利益→△244

別解 (変動費を 135 とする)

設問がダメ!

年間とは何をさすのか? 変動費は実際発生額をあらわすので、試運転は半年で 60、商業運転は半年で 210 と考えるのか、それとも年間変動費と考え 1/2 にするのか、商業運転だけで考えるのか? 試運転費も含むのか?

あまり深入りしない方が良いでしょう。

(設問3)

設問2を受けて→変動比率 210/396 (2年目の変動費に試運転費は含まないとする)

予想売上 40×33= 1,320

変動費 700

固定費 370

営業利益 250

ここで変動費が 700 とスッキリ出たので、設問2は半分にする必要なしと考えるのが正解と考える

★私は次の問題は間違えました。慌てるとダメですね。

今回は単価が変わるので変動費率は変わります。間違ったパターンは以下の内容です。変動費率がかわらない前提で解いています。

(売上) 40×X円

(変動費) 40X×210/396・・・①

(固定費) 370

$$40X - 8,400/396X - 370 = 0$$

$$(15,840 - 8,400 = 7,440) / 396X = 370$$

$$X = 19.69 \rightarrow 20 \text{円}$$

変動費が変わらず、売価が変わるわけなので①の式がおかしいですね

(売上) $40X$

(総コスト) $< (\text{変動費単価} = 210 \div 12) \times 40 > + < \text{固定費 } 370 > = 1,070$

これがトントン以上にならないとダメ

$\therefore 40X = 1,070 \quad X = 26.75 \quad \therefore 27 \text{ 円以上}$

第3問

(設問1) 時間かけてでも確実に取りに行く

<取替投資>

	1期首	1年度末	2度末	3度末	4度末	5度末
売上		580	580	580	580	580
費用		370	370	370	370	370
取得	200					
減価		40	40	40	40	40
除却損		60				50
除却支出	10					50
前利益		110	170	170	170	120
税金		33	51	51	51	36
C F	△210	177	159	159	159	124

<旧設備>

	1期首	1年度末	2度末	3度末	4度末	5度末
売上		520	520	520	520	520
費用		380	380	380	380	380
取得						
減価		10	10	10	10	10
除却損						50
除却支出						50
前利益		130	130	130	130	80
税金		39	39	39	39	24
C F		101	101	101	101	66

5年度の除却支出は埋没(差額C F上はどちらも同じ)と考えても良い

<差額C F>

	1期首	1年度末	2度末	3度末	4度末	5度末
C F	△210	76	58	58	58	58
割引価値		71.0296	50.6572	47.3454	44.2482	41.354
累計			121.6868	169.0322	213.2804	254.6344

(設問2)

<安全性>

時間価値を考慮する回収期間法→ $210 - 169.0322 = 40.9678$ → $40.9678 \div 44.2482 = 0.9258$ ∴3.93年

<収益性>

正味現在価値→44.63 ∴投資案採用

第4問

(設問1)

事業活動→営業利益または事業利益、営業利益でいいでしょう

非支配株主損益 (20%で16なので、子会社の利益は80)

親会社帰属分は64

子会社がないと64の利益が失われるので、赤字に転落する

(設問2)

D-b社の子会社化

出資2千万、借入12億

営業利益+299

利益は増加するが借入金が増加し、自己資本比率の低下を招く

(設問3)

①企業文化の違いによる組織間の軋轢の可能性

②就業規則を含む各規程の統一に時間がかかる